

ラグビー全国大会「1勝」誓う 八学大



北日本大学ラグビー交流戦で優勝し、全国大学ラグビー選手権に出場する八戸学院大学男子ラグビー部員らが17日、八戸市庁に熊谷雄一市長を訪ね、全国での悲願の1勝を誓った。

交流戦は東北地区・北海道地区代表の東北学院大、北海道大、札幌大の計4チームによるリーグ戦。八学大は全勝し、7年連続8回目の出場を決めた。

市庁には工藤祐太郎監督、山下祐史ヘッドコーチ、朋友太と中村良真の両コーチ、廣瀬大翔主将、宝田神響副将が訪問。工藤監督は「粘り強さを発揮し、東北・北海道地区悲願の初勝利を成し遂げた」と抱負を述べ、熊谷市長は「新しい歴史をつくれるよう頑張って」と激励した。

廣瀬主将は取材に「強豪がそろった全国では受け回ることが多く、前回は大量失点した。強みのセットプレーを生かし、接戦に持ち込めば勝機はある」と語った。全国選手権では14チームがトーナメント戦を行う。八学大は22日、名古屋市中で東海・北陸・中国・四国地区代表の朝日大（4大会ぶり11回目）と対戦する。

（下館悠々）

全国大会での勝利を誓った八戸学院大男子ラグビー部の選手、監督、コーチら